



くま笹を利用した料理を作る参加者たち

里山などに生い茂るクマザサを有効利用し、環境活動などにつなげようと昨年立ちあがった市民団体、長野県クマザサ利用推進協議会準備会(向山平和会長)は四日、北山白樺湖にある信州風の学校で同会発足に向けた呼びかけと、具体的な活用方法を紹介する体験会を開いた。関心を持った来場者らにクマザサの効果や利用方法などを魅力を伝えた。

昨年十二月から活用方法を試行錯誤してきた。また利用方法を広めることで、山に繁茂するクマザサの刈り取りを促進し、里山の整備と再生につなげる狙いも抱く。

この日の会場では、香りが安眠につながるという意味から、クマザサのかすを詰めた枕や、エキス、パウダーを料理に生かした寒天ゼリー、ホットケーキ

茅野市の第四次総合計画・市民プランを策定している円卓会議の第八回会合は三日夜、市役所大ホールで開いた。今回は前回(五月十四日)の会議以降、一部修正した基本構想の素案のほか、具体的な基本計画(素案)を見聞いた。

市民プラン円卓会議

デイングプロジェクトは、趣旨となる「行政分野の枠組みを超えた横断的な取り組み」を基本構想のなかで強調。市民、民間活動団体、事業者らが行政と一体となって推進することを明記した。

一方、基本計画はこの日に示されたばかりのため、次回の会議での検討を決めた。構想について委員からは

平出クリニック

七作ら 1

内科開業1周年を記念

ボタニカルアート展開催

クマザサ利用で環境向上へ

県利用促進協準備会が活用法紹介

クマザサは抗菌、鎮痛などの効果があるとされ、医薬品としても利用されている。同会では、商品製造後に出来残りかすをさらに有効利用できないかと、

向山会長は「邪魔物などを紹介。料理は抹茶に似た味があり、原村から参加した女性たちは「食べづらいかと思ったが、おいしく、良い香りもする」「胃にも優しそう」と笑顔で感想を話していた。

局(電68・25530)へ。



発行所
〒391-0003 茅野市本町西1の6
茅野市民新聞社
編集・発行人 薩摩 正
電話 代表 72-5222
FAX 73-0222
www.shimin.co.jp
E-mail(記事)
mail@shimin.co.jp
E-mail(広告)
koukoku@shimin.co.jp
©茅野市民新聞社 2008年
定価1ヵ月1,280円
1部売り50円(税込み)
本紙をお届けする販売店
信毎販売C茅野営業所 ☎72-4198
小林新開店 ☎79-2451
信毎販売C原村営業所 ☎70-1175

向山会長は「邪魔物扱いされているクマザサの利用方法を多くの人に知ってもらえたと思つたが、おいしく、良い香りもする」「胃にも優しそう」と笑顔で感想を話していた。

ある人に是非参加してもらいたい」と話して

基本構想素案示す

いた。会の発足の説明会は十三日(金)午後一時から、ホテル信濃プリンスシラカバで。問い合わせは同会事務局(電68・25530)

に示されたばかりのため、次回の会議での検討を決めた。構想について委員からは

たすがか資り子しは す普うか布にをまに進そ値き 〔二〕